

## Mass Production & Refraction

KUNST ARZT では、2年ぶり2度目となる鈴木真衣子の個展を開催します。鈴木真衣子は、日常的なモチーフをポップにユーモラスに“分解”、または“引延ばし”で、木版画で表現するアーティストです。「水回り」の見えていない部分が存在する事への気付き、色のカタマリの組み合わせで巧みに構成されている「おもしろ消しゴム」の観察から作品が具体化していきました。本展では、最新作である「光の屈折」をテーマとした作品も登場予定です。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



市バス  
2021年 油性木版・鳥の子紙

### 略歴

1995年 京都府出身  
2021年 京都市立芸術大学大学院版画修了

### 個展

2020年「集団の分断」(KUNST ARZT/京都)

### グループ展

2018年「第11回大野城まどかびあ版画ビエンナーレ」まどかびあ未来賞(大野城まどかびあ/福岡)  
2019年「A-Lab Artist Gate 2019 新鋭アーティスト発信プロジェクト」(あまらぶアトラボ/兵庫)  
2019年「大学版画展受賞者展」(文房堂ギャラリー/東京)  
2019年「PORTO DI STAMPA 2019 圧力の湊」(アートゾーン神楽岡/京都)  
2019年「第7回 PORTO DI STAMPA - 京都芸大版画8人展 -」(B-gallery/東京)  
2019年「京都のチカラ『50人50色』」(リーガロイヤルホテル京都1階ロビー)  
2019年「Print for Sale」(hatoba cafe Gallery/京都)  
2021年「チャリティ&オークション 10年後〜」(+lart/大阪)  
2022年「L.inking: Contemporary International Woodblock Prints」(コッペルアートセンター/テキサス)

2022年9月17日(土)から25日(日)

12:00から18:00 月休

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町155-7 2F

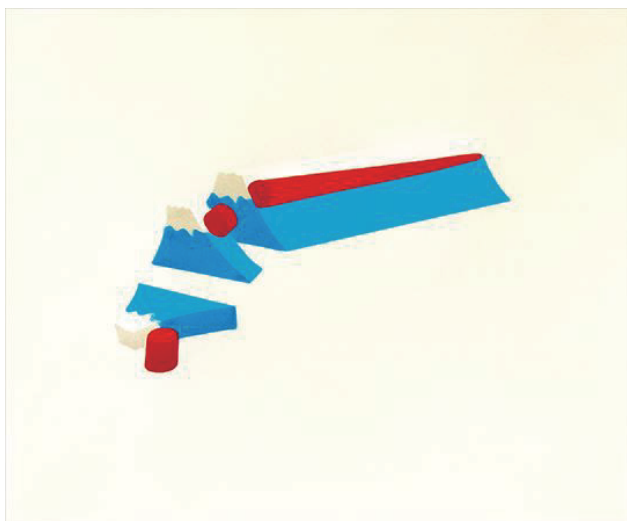
## Mass Production & Refraction

### 展覧会コンセプト

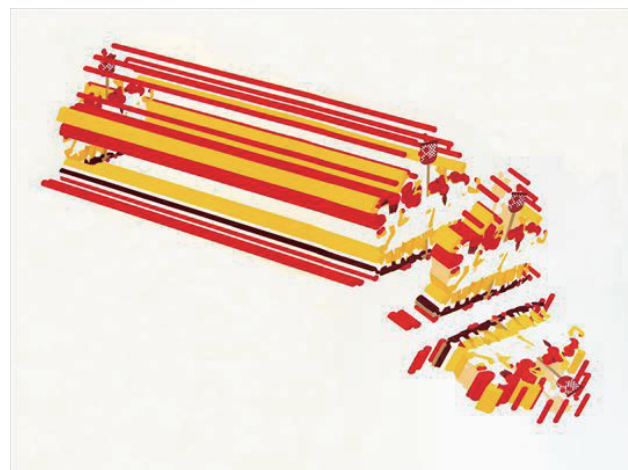
工業製品の美しさと滑稽さを表現している。  
どこで切っても同じ断面が得られる金太郎飴の構造は、より多くのものを速く、安く作るために考え出された合理的な形である。  
それを木版画で手間をかけて作ることは、不合理で面白かった。

### アーティスト・ステートメント

「見慣れたものも、違う角度から捉えると面白い」ということを伝えたいと考え、制作している。  
木版画は、下絵・分版・転写・彫り・刷り、と同じ柄を何度もなぞる工程がある。  
何もかもがスピード重視のこの時代に、あえて「合理的でない」方法で表現をすることは、私なりの時代への小さな反抗であり、不器用な生き方そのものなのだ。



富士山  
2021  
油性木版・鳥の子紙



玉入れ  
2021  
油性木版・鳥の子紙



林檎  
2018  
油性木版・鳥の子紙



個展「集団の分断」(2020年) 展示風景